上岡 里美（かみおか さとみ）さん
（クリーンセンター職員）

WAZA!!! 技

仕事は考えてせないかん

「クリーンセンター銀河」（天ノ川）には、日々さまざまな廃棄物が持ち込まれる。収集車や一般の車がごみを降ろす「プラットホーム」を担当する上岡里美さんは、約20年前のセンター開所時から働くベテランだ。

多い日は100台以上、ひっきりなしに出入りするトラックや軽自動車をピットの投入扉まで誘導し、燃やせないごみや家電、産業廃棄物などが混じっていないかを確認する。「とにかく毎日緊張するのは車の誘導。ぶつからんように気を付けて、出る時もスムーズに出られるように考えてね」。

タンスなどの粗大ごみはハンマーで解体してから裁断機に投入。ごみをすくって持ち上げる機械「ホイールローダ」にも乗る。朝9時から夕方4時まで、黙々と流れるような動きで作業が続く。「何回も来てくれるお客さんの中には『今日も暑いのに頑張りゆうね』って言うてくれる人もおって。それがうれしいし、すごいありがたい」。

センターで働く以前は農作業の手伝いなどをしていて、ごみ処理の仕事とは無関係だった。ちょうど子どもたちの学費も必要な時期で、思い切って面接を受けたという。缶や瓶、ペットボトルのリサイクル担当を経て、プラットホームに配属された。

作業する中で、「どうやったら今より早くできるか、どうやったら良くなるか」をいつも考えているという。「もう何十年も前の10代の頃、（当時の）上司に教えてもらいました。『仕事は考えてせないかん』と。それがいまだにずーっと頭にあって。どうやったらやりよいかって考えるのが、やっぱり楽しい」。車の誘導や粗大ごみの解体など、円滑な仕事ぶりは少しずつ改善を重ねてきた結果だ。

「こうやって体を動かして、仕事させてもらうだけでありがたい」と上岡さん。「体が動く間はできたらなと思います。じっとしてようおらんので」。翌日の搬入に備え、慣れた手つきで機械の点検を終えた。

ちょいwaza!! 町にはこんなwazaも
恐竜とドラゴンが好き！ 吉本 健悟（けんご）さん 東又小学校4年

恐竜とドラゴンが大好きで、学校や家で工作したり、自由帳に絵を描いたり。「何枚も描いてうまくなった。爪とか牙がかっこいい」。夏休みにはオリジナルドラゴンのカードもたくさん作った。大きな作品にも挑戦したいそうだ。

こだわりの「技」できらりと光る四万十町の人々を紹介します。
ちょいwaza!!は随時募集中!▶

窪川高校の魅力を発信！
三年坂 information

四国大会 応援 ありがとうございました！

四国高等学校選手権大会 陸上部

男子走幅跳
1-1 宮地 羅射人（記録 6m13 全体21位）

女子円盤投
3-1 多賀 暖乃香（記録 28m09 全体14位）

四国高等学校選手権大会 水泳部

男子400m自由形 2-1 辻本 未来斗
（記録 4分47秒02 予選20位予選敗退）

女子100m平泳ぎ 2-1 岡村 明音
（記録 1分24秒00 予選13位予選敗退）

女子200m平泳ぎ 2-1 岡村 明音
（記録 2分59秒56 予選12位予選敗退）

カナダ研修

2－1 小野川 果歩

私は8月19日から29日までカナダで過ごしました。これはただの旅行ではなく、町が主催する研修だったのですが、選ばれた私たちは初日から最終日までぎっしりと詰まったスケジュールを見て、ワクワクを隠せませんでした。

最初にカナダに到着した時には現実感が全くわかず、まるで別世界に来たように感じました。そしてそれと同時にやっぱり海外は規模が違うなと驚きました。ホストファミリーに初めてあった時は緊張と不安がありましたが、笑顔で挨拶してくれて一気に不安が解けました。

ホームステイ初日の夕食の時には自分の紹介や家族の話をしたりと笑いの絶えない一日になりました。カナダに行って初めて感じたことは、事前研修で聞いていた通り〝多様な人々が住んでいてそれぞれのスタイルで楽しく生きている〟ということです。

また、初めての海外で話すことに慣れていないため、最初はどうやって会話をしたらいいのか分からず、どのように話したら伝わるのか悩みましたが、通じないから話さないのではなく、伝わらなかった時も諦めずに、知っている単語や思い浮かぶ単語を口に出すことで、相手が察して理解してくれることがわかりました。私は、伝わらなくても、話せなくても、まずは伝えようとする気持ちがすごく大事なんだと大きな学びを得ることが出来ました。

2日目からはお金のことやカナダの自然について深く学び、3日目には有名なプリティッシュコロンビア大学を訪れました。文房具屋さんという名のなんでも屋さんでは、服やお土産品、日常生活用品まで揃っていて、友達とお揃いのバーカーを買うなど、大切な思い出を作ることが出来ました。週末の休みには、ホストファミリーとショッピングに行ったり教会に行ったりと、とても有意義な時間を過ごしました。なかでも休日最後に行った海では、家族写真を撮ったり、美しい港町として知られるホワイトロックを見たりと、久しぶりの海に癒されながらホストファミリーとの大切な思い出を作ることが出来ました。

観光では、カナダのバンクーバーと言ったらこれと言ってもいいほど有名なガスタウンの蒸気時計を見に行き、写真をたくさん撮って、最後にお土産をたくさん買いました。また、フライオーバーの観光アトラクションでは、今回の研修では見ることが出来なかったカナダの絶景や自然を目の前にして、とても感動しました。

最初は不安だったカナダでしたが、最後にはもうちょっと居たいと思う気持ちと、早く家族に会いたい気持ちでいっぱいになりながら過ごしました。とても貴重な10日間となりました。お世話になった皆様、ありがとうございました。

詳しくは窪川高校公式HPへ
窪川高校HP

じゆうく。

地域で挑戦する、高校生たち

「じゆうく。」では、３年生の進路実現に向けて、受験指導も行なっています。

私たちが大切にしているのは「これをやりなさい」と指示することではなく、目標と現状の差分を埋めるために、生徒自らが考え、実行し、結果を振り返る機会をつくることです。

受験という１つの挑戦機会が、生徒の成長につながるように引き続きサポートしていきます！

【お問い合わせ先】 町営塾「じゆうく。」 ☎050-5482-3339
人材育成推進センター ☎22-3163